

愛の木 児童発達支援 nijii

支援プログラム

令和7

2 月

15 日

法人（事業所）理念		自立支援と個人の尊厳を重んじ生活の質を向上させる										
支援方針		自立支援と個人の尊厳の保持 医療的ケア児の安全確保と生活の質向上 家族との連携強化										
営業時間			10	時	00	分から	15	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・医療的ケアの提供とモニタリング：呼吸や栄養管理など必要な医療的ケアを実施する。 ・生活リズムの確立：個別に調整された日常生活のルーチン作り、食事や睡眠のサポートを行う。 ・健康管理・予防：定期的な健康チェックを行い、感染症予防や体調管理を徹底する。										
	運動・感覚	・感覚刺激の調整：各感覚への過敏や鈍感に対応する環境設定や感覚統合支援を行う。 ・簡単な運動やリハビリ：寝返りや手足を動かすなどの簡単な運動を行い、筋肉や関節の柔軟性を維持する。 ・リラックス運動：深呼吸やストレッチ、マッサージ等、身体を使ったリラックス法で心身の緊張を和らげる。										
	認知・行動	・個別の認知支援：視覚支援や音声ツールなどの代替手段を用いて生活や遊びの中で認知機能をサポートする。 ・日常生活スキルの向上：簡単な作業動作、選択する経験等を通して認知機能の向上を目指す。										
	言語 コミュニケーション	・意思表示の練習：ジェスチャーや絵カードを活用し自分の気持ちや要望を伝える練習を行う。音声表出が困難な場合もスムーズに意思表示出来るよう個に応じた支援を行う。 ・視覚的なコミュニケーション支援：絵カード、イラスト、タブレットなどを用いて視覚的なコミュニケーションの支援を行う。 ・コミュニケーションの場面設定：必要な場面で適切なコミュニケーションが取れるよう社会的な理解も含める。										
	人間関係 社会性	・家族やスタッフとの信頼関係の構築：安心できる関係を築き、日常生活やケアをサポートする。 ・集団活動の参加支援：可能な範囲で集団活動に参加し、他の子どもたちと交流を持つ機会を提供する。 ・社会的ルールの理解：挨拶する、順番を守るなどの社会的ルールを理解し他者と共に過ごす力を育む。										
家族支援		・家庭内支援のアドバイスと指導：家庭でのケア方法や医療的ケアの実施について嘱託医や看護職員による専門的なアドバイスを行う。 ・家族向けの情報提供と相談：医療・福祉関連の情報やサービスについて定期的に提供し、家族が適切な選択を出来るようサポートする。 ・家族の精神的サポート：精神的負担を軽減するため適宜相談等を受ける。家族がリフレッシュできる時間を確保し心身のケアを支援する。						移行支援		・生活スキルの向上支援：日常的な生活スキルの練習を行い、将来的によりスムーズに日常生活を送れるよう支援を行う。 ・社会的スキルとコミュニケーション支援：社会での適応力を高めるため、挨拶などのコミュニケーションの基本を学ぶ。グループ活動や地域での交流を通して他者との関わり方を実践し社会性を育てる。		
地域支援・地域連携		・地域社会との連携強化：地域の交流イベントや体験活動に参加することで、地域社会との関わりを深め、地域での繋がりを実感できる場を提供する。 ・地域医療機関との連携強化：医療機関と連携し、医療的ケアが必要な場合に迅速に対応できる体制を整える。医療従事者との情報共有や協力により、より良いケアを提供する						職員の質の向上		・研修や勉強会の実施：定期的に行い専門性を高める。 ・ケース検討・振り返りの強化：職員間で事例を共有。効果的な対応策を日々考えていく。 ・地域や専門機関との連携強化：福祉・教育・企業など様々な分野と連携することで最新の支援方法を学び実践に活かすよう努める。		
主な行事等		買い物体験　調理活動　ドライブ療育　戸外活動　プール活動　製作活動　感覚遊びなど イベント：夏祭り、クリスマス会、餅つき、初詣、花見、音楽鑑賞など										